平 成 ３１ 年 度

専攻科学生募集要項

独立行政法人国立高等専門学校機構
函 館 工 業 高 等 専 門 学 校

〒０４２－８５０１　北海道函館市戸倉町１４番１号
電　　話　　（０１３８）５９－６４２０
ＦＡＸ　　（０１３８）５９－６３３０
ホームページ　http://www.hakodate-ct.ac.jp/

目　次

○入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）　・・・・・・・・・・・・・　1

○学生募集要項　・・・・・・・・・・・・・　2
Ⅰ．募集する専攻及び入学定員　・・・・・・・・・・・・・　2
Ⅱ．選抜方法　・・・・・・・・・・・・・　2
Ⅲ．出願資格　・・・・・・・・・・・・・　2
Ⅳ．学力検査による選抜　・・・・・・・・・・・・・　3
Ⅴ．推薦による選抜【前期】及び【後期】　・・・・・・・・・・・・・　5
Ⅵ．社会人特別選抜　・・・・・・・・・・・・・　7
Ⅶ．その他　・・・・・・・・・・・・・　8

○専攻科入学案内　・・・・・・・・・・・・・　9
Ⅰ．専攻科の目的　・・・・・・・・・・・・・　9
Ⅱ．専攻及び入学定員　・・・・・・・・・・・・・　9
Ⅲ．修業年限及び修了要件　・・・・・・・・・・・・・　9
Ⅳ．教育課程表　・・・・・・・・・・・・・　１０
Ⅴ．「社会基盤工学」教育プログラム　・・・・・・・・・・・・・　１３
Ⅵ．学士の学位取得について　・・・・・・・・・・・・・　１３
Ⅶ．入学時に必要な諸経費，授業料等　・・・・・・・・・・・・・　１４
Ⅷ．入学料・授業料の免除及び奨学金制度　・・・・・・・・・・・・・　１４
Ⅸ．検定料の取り扱いについて　・・・・・・・・・・・・・　１４
Ⅹ．個人情報の取り扱いについて　・・・・・・・・・・・・・　１４

＜出願書類等様式＞
入学願書
自己アピール書
推薦書（推薦による選抜用）
推薦書（社会人特別選抜用）
調査書
写真票・受験票
検定料振込用紙

入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）

函館高専の専攻科課程では，創造的な技術開発能力，情報の高度処理能力及び提示能力，国際化への対応能力を総合的に兼ね備え，清廉な技術者倫理と社会への強い貢献意識を持った質の高い実践的技術者の育成を目指しています。

これを実現するため，各専攻では教育を受けるにふさわしい学力，すなわち専門分野の基礎知識・数理能力・語学力を備え，専攻科入学以降もこれらの能力に加え，課題解決能力，特別研究遂行能力を高め，自らのキャリアデザインに生かそうとする意欲を備えた学生を受け入れます。

１．生産システム工学専攻の入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）

生産システム工学専攻では，次のような人の入学を期待しています。

- 機械工学，電気電子工学，情報工学の知識を高め，それらを複合したものづくりや課題解決に取り組みたいという意欲のある人
- グローバルに活躍する自分を想像して，国際社会と関わりを持とうという意欲のある人
- 自らの良心に従って物事を判断しようとする人

そのため，生産システム工学専攻では，本科課程の機械工学，電気電子工学，情報工学のいずれかの学業に加えて，以下のような観点を評価の対象として推薦及び学力選抜試験を行っています。

- 自らの専門性を生かして研究を進めた経験
- 学生生活の中で得られた総合的な経験
- 学習意欲と自らのキャリアデザインの具体化

２．物質環境工学専攻の入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）

物質環境工学専攻では，次のような人の入学を期待しています。

- 物質環境工学（応用化学系，バイオ系，環境系）の知識を高め，それらの知識を活用して農水産資源の有効利用や課題解決に取り組みたいという意欲のある人
- グローバルに活躍する自分を想像して，国際社会と関わりを持とうという意欲のある人
- 自らの良心に従って物事を判断しようとする人

そのため，物質環境工学専攻では，本科課程の物質環境工学（応用化学系，バイオ系，環境系）の学業に加えて，以下のような観点を評価の対象として推薦及び学力選抜試験を行っています。

- 自らの専門性を生かして研究を進めた経験
- 学生生活の中で得られた総合的な経験
- 学習意欲と自らのキャリアデザインの具体化

３．社会基盤工学専攻の入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）

社会基盤工学専攻では，次のような人の入学を期待しています。

- 社会基盤工学（土木工学系，地域系，デザイン系）の知識を高め，それらの知識を活用して社会基盤整備や課題解決に取り組みたいという意欲のある人
- グローバルに活躍する自分を想像して，国際社会と関わりを持とうという意欲のある人
- 自らの良心に従って物事を判断しようとする人

そのため，社会基盤工学専攻では，本科課程の社会基盤工学（土木工学系，地域系，デザイン系）の学業に加えて，以下のような観点を評価の対象として推薦及び学力選抜試験を行っています。

- 自らの専門性を生かして研究を進めた経験
- 学生生活の中で得られた総合的な経験
- 学習意欲と自らのキャリアデザインの具体化

平成３１年度函館工業高等専門学校専攻科学生募集要項

Ⅰ．募集する専攻及び入学定員

専　　攻	入学定員
生産システム工学専攻	１２　名
物 質 環 境 工学専攻	４　名
社 会 基 盤 工学専攻	４　名

Ⅱ．選抜方法

入学者の選抜は，**学力検査による選抜，推薦による選抜【前期・後期】及び社会人特別選抜**とし，次のとおり実施する。

選　抜　区　分	試　験　期　日	募　集　人　員
学 力 検 査 に よ る 選 抜	平成３０年　９月１３日（木）	各専攻の入学定員程度
推薦による選抜【前期】	平成３０年　７月１２日（木）	
推薦による選抜【後期】	平成３０年１１月　８日（木）	
社 会 人 特 別 選 抜	平成３０年　９月１３日（木）	若　干　名

Ⅲ．出願資格

次のいずれかに該当する者（※注）

（１）高等専門学校を卒業した者
（２）高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第５８条の２（同法第７０条第１項及び第８２条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入学することができる者
（３）短期大学を卒業した者
（４）専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第１３２条の規定により大学に編入学することができる者
（５）外国において，学校教育における１４年の課程を修了した者
（６）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１４年の課程を修了した者
（７）我が国において，外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１４年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

※注　学力検査による選抜については，平成３１年３月までに上記の各号に該当する見込みの者を含む。

※注　推薦による選抜については，上記の各号に関わらず高等専門学校を平成３１年３月卒業見込みの者に限る。

Ⅳ．学力検査による選抜

１．出願手続

（１）願書受付

期　　間	平成３０年８月２７日（月）から平成３０年９月３日（月）まで
時　　間	９：００から１６：００まで （郵送の場合は平成３０年９月３日（月）１６：００　必着）
場　　所	〒042-8501　北海道函館市戸倉町１４番１号 函館工業高等専門学校　学生課教務係　　TEL　0138-59-6420

（２）出願書類等

入 学 願 書	本校所定の用紙に，必要事項を記入したもの。
調　査　書	本校所定の用紙を使用して出身又は在籍学校長が作成し，厳封したもの。ただし，Ⅲ.出願資格（１）により出願する者で高等学校から高等専門学校に編入学した者は，出身高等学校の調査書も添付すること。 なお，Ⅲ.出願資格（５），（６）及び（７）により出願する場合は，資格に係る最終学校の成績証明書をもってこれに代える。
成績証明書	出身又は在籍学校長が作成し，厳封したもの。ただし，高等学校から高等専門学校に編入学した者は，出身高等学校の成績証明書も添付すること。
英語能力に関する書類	以下2種類のうち，一方の原本を提出すること(書類は受験票発行時に返却します)。 （１）TOEIC公開テストの公式認定証(Official Score Certificate)又はTOEIC-IPテスト(TOEIC Institutional Program)のスコアレポート(ScoreReport) **※公式認定証又はスコアレポートの再発行の対象は，試験日から２年以内のものに限られるので，注意すること。** （２）平成２７年度以降に受検した実用英語技能検定（英検）の合格証明書
写　真　票 受　験　票	本校所定の用紙に必要事項を記入し，写真を貼付したもの（写真は出願前３ヶ月以内に撮影し，上半身，脱帽，正面向き，縦6.5 cm×横4.5 cmのもの)。
検　定　料	１６，５００円，本校所定の振込用紙に氏名を記入の上，出願書類等提出締切日までに指定の銀行に振り込み，出願書類等提出時に振込金受領書（控）を入学願書裏面の指定された場所に貼付すること。
そ　の　他	・　Ⅲ.出願資格（２）により出願する場合は，出身又は在籍学校長作成の修了証明書又は修了見込証明書を添付すること。 ・　Ⅲ.出願資格（４）により出願する場合は，次の①又は②のいずれか及び③の書類を提出すること。 ①専修学校が発行する，修業年限２年以上で修了に必要な総時間数が1,700時間以上の専門課程を修了したこと又は修了見込みであることの証明書 ②専門士の称号授与証明書又は授与見込証明書 ③専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 ・　現に日本国内に在住する外国人は，「在留カード」の写しを添付すること。

※　出願に関する注意事項

ア．郵送の場合は必ず**書留郵便**とし，封筒に**「専攻科出願書類在中」と朱書き**すること。

イ．**出願書類等に不備のあるものは受け付けない。**

ウ．提出した出願書類等に虚偽の記載があった場合は，入学後においても入学を取り消すことがある。

エ．出願書類等の提出後は，記載事項の変更は認めない。

オ．受理した出願書類等（英語能力に関する書類を除く。）及び検定料は返還しない。

カ．出願状況を本校ホームページで公開する（http://www.hakodate-ct.ac.jp/)。

キ．検査の実施，又は修学上，特別な配慮を必要とする障がいがある場合は，８月１７日（金）までに申し出ること。
　なお，必要な場合は，本校において出願者等との面談を行う。

２．選抜の方法

入学者の選抜は，調査書及び成績証明書の記載内容等を考慮し，学力点，面接評点を合算した総合点（500点満点）により判定する。

（１）筆記試験科目及び出題範囲

科　　目		試　験　科　目　及　び　出　題　範　囲	配　点
数　　学		基礎，線形代数，微分・積分（微分方程式を含む）。	１００点
専門科目	生産システム工学専攻(※)	(機械工学科目群)材料力学，熱流体力学，制御工学 (電気電子工学科目群)電気磁気学，電気回路，電子回路 (情報工学科目群)計算機システム(コンピュータアーキテクチャ，論理回路)，アルゴリズム基礎(アルゴリズムとデータ構造，C言語)，情報ネットワーク	１５０点
	物質環境工学専攻	基礎生物化学，無機化学，有機化学	１５０点
	社会基盤工学専攻	構造力学，水理学，土質工学	１５０点

(※) 生産システム工学専攻は3つの科目群から1つを選択して解答する。

（２）英語能力の評価（配点：100点）

TOEICスコア又は実用英語技能検定（英検）で合格した級に応じて評価する。

なお，評価の換算式は以下のとおり。

■TOEIC　得点＝（TOEICスコア－200）×0.4

※ただし，200点以下は一律0点とし，450点以上は一律100点とする。

■英検　準1級100点(1次・2次合格共通)，2級 80点(2次合格)，75点(1次合格)，
準2級 65点(2次合格)，60点(1次合格)

（３）学力点

筆記試験科目の合計点（250点満点）及び英語能力の評価（100点満点）の総合点を学力点（350点満点）とする。

（４）面接評点

面接担当者が，質問に対する回答内容，応答態度を評価して総合したものを面接評点（150点満点）とする。

（５）試験期日等

期　　日	科　目　等	時　　間	試験時間
平成３０年９月１３日（木）	専門科目	１０：００～　１２：００	１２０分
	数　　学	１３：００～　１４：３０	９０分
	面　　接	１４：４０～	

※　９：４０までに本校の指定する場所で受付を済ませること。

（６）試験会場　　函館工業高等専門学校

３．合格者の発表

選抜の結果は，**平成３０年１０月１日（月）１０：００**に本校構内の掲示により発表するとともに，合格者には『合格通知書』を交付（郵送）する。

また，合格者の受験番号を本校ホームページで公開する（http://www.hakodate-ct.ac.jp/)。

４．入学手続

入学に必要な書類，経費等については合格者へ３月上旬に通知する。

５．「学力検査による選抜」に合格とならなかった者について

「学力検査による選抜」の結果，合格とならなかった者で，「推薦による選抜【後期】」の受験を希望する者は，再度出願の手続きを行うこと。

なお，この際は「調査書」及び「成績証明書」の提出を必要としない。

Ⅴ．推薦による選抜【前期】及び【後期】

１．出願要件

Ⅲ.出願資格を満たし，TOEIC（公開テスト，IPテスト）350点以上を取得し，かつ，合格した場合には入学することを前提条件として，高等専門学校長が人物，学業ともに優れていると認めて推薦する者

２．出願手続

（１）願書受付

【前期】

期　　間	平成３０年６月２６日（火）から平成３０年７月３日（火）まで
時　　間	９：００から１６：００まで （郵送の場合は平成３０年７月３日（火）１６：００　必着）
場　　所	〒042-8501　北海道函館市戸倉町１４番１号 函館工業高等専門学校　学生課教務係　　TEL　0138-59-6420

【後期】

期　　間	平成３０年１０月２３日（火）から平成３０年１０月３０日（火）まで
時　　間	９：００から１６：００まで （郵送の場合は平成３０年１０月３０日（火）１６：００　必着）
場　　所	〒042-8501　北海道函館市戸倉町１４番１号 函館工業高等専門学校　学生課教務係　　TEL　0138-59-6420

（２）出願書類等【前期】及び【後期】共通

入 学 願 書	本校所定の用紙に，必要事項を記入したもの。
自己アピール書	本校所定の用紙に，必要事項を記入したもの。
推　薦　書	本校所定の用紙により，在籍高等専門学校長が作成したもの。
調　査　書	本校所定の用紙を使用して在籍高等専門学校長が作成し，厳封したもの。ただし，高等学校から高等専門学校に編入学した者は，出身高等学校の調査書も添付すること。
成績証明書	在籍高等専門学校長が作成し，厳封したもの。ただし，高等学校から高等専門学校に編入学した者は，出身高等学校の成績証明書も添付すること。
英語の基準に係る確認書類	TOEIC公開テストの公式認定証（Official Score Certificate）又はTOEIC-IPテスト（TOEIC Institutional Program）のスコアレポート（Score Report）のいずれか一つの原本（出願資格の確認後，出願者本人に返却します）。 **※公式認定証又はスコアレポートの再発行の対象は，試験日から2年以内のものに限られるので，注意すること。**
写　真　票 受　験　票	本校所定の用紙に必要事項を記入し，写真を貼付したもの（写真は出願前３ヶ月以内に撮影し，上半身，脱帽，正面向き，縦6.5 cm×横4.5 cmのもの）。
検　定　料	１６，５００円，本校所定の振込用紙に氏名を記入の上，出願書類等提出締切日までに指定の銀行に振り込み，出願書類等提出時に振込金受領書（控）を入学願書裏面の指定された場所に貼付すること。
そ　の　他	現に日本国内に在住する外国人は，「在留カード」の写しを添付すること。

※　出願に関する注意事項

ア．郵送の場合は必ず**書留郵便**とし，封筒に**「専攻科出願書類在中」と朱書き**すること。

イ．**出願書類等に不備のあるものは受け付けない。**

ウ．提出した出願書類等に虚偽の記載があった場合は，入学後においても入学を取り消すことがある。

エ．出願書類等の提出後は，記載事項の変更は認めない。

オ．受理した出願書類等（英語の基準に係る確認書類を除く。）及び検定料は返還しない。

カ．出願状況を本校ホームページで公開する（http://www.hakodate-ct.ac.jp/）。

キ．検査の実施，又は修学上，特別な配慮を必要とする障がいがある場合は，推薦による選抜【前期】出願者については６月１８日（月）までに，推薦による選抜【後期】出願者については１０月１５日（月）までに申し出ること。
　なお，必要な場合は，本校において出願者等との面談を行う。

３．選抜の方法

入学者の選抜は，在籍高等専門学校長から提出された推薦書，調査書及び成績証明書並びに自己アピール書及び面接の内容等に基づいて，総合的に判定する。

試験日時	【前期】	**平成３０年　７月１２日（木）９：００～**
	【後期】	**平成３０年１１月　８日（木）９：００～**
	※ ８：４０までに，本校の指定する場所で受付を済ませること。	
試験内容	面接	
試験会場	函館工業高等専門学校	

４．合格者の発表

選抜の結果は，以下の期日に本校構内の掲示により発表するとともに，合格者には『合格通知書』を交付（郵送）する。

また，合格者の受験番号を本校ホームページで公開する（http://www.hakodate-ct.ac.jp/）。

【前期】**平成３０年　７月２０日（金）１０：００**

【後期】**平成３０年１１月１４日（水）１０：００**

５．入学手続

入学に必要な書類，経費等については合格者へ３月上旬に通知する。

６．「推薦による選抜【前期】」に合格とならなかった者について

「推薦による選抜【前期】」の結果，合格とならなかった者で「学力検査による選抜」又は「推薦による選抜【後期】」の受験を希望する者は，各選抜の定めるところにより，再度出願の手続きを行うこと。

なお，この際は「調査書」及び「成績証明書」の提出は必要としない。

Ⅵ. 社会人特別選抜

１．出願要件

Ⅲ.出願資格を満たし，TOEIC（公開テスト，IPテスト）350点以上を取得し，企業での就業期間が１ヶ年以上であり，かつ，所属する企業等の長が推薦する者

２．出願手続

（１）願書受付

期　　間	平成３０年８月２７日（月）から平成３０年９月３日（月）まで
時　　間	９：００から１６：００まで （郵送の場合は平成３０年９月３日（月）１６：００　必着）
場　　所	〒042-8501　北海道函館市戸倉町１４番１号 函館工業高等専門学校　学生課教務係　　TEL　0138-59-6420

（２）出願書類等

入 学 願 書	本校所定の用紙に，必要事項を記入したもの。
推　薦　書	本校所定の用紙により，所属する企業等の長が作成したもの。
調　査　書	本校所定の用紙に，出身学校長が作成し，厳封したもの。ただし，出願資格（１）により出願する者で高等学校から高等専門学校に編入学した者は出身高等学校の調査書も添付すること。 なお，Ⅲ.出願資格（５），（６）及び（７）により出願する場合は，資格に係る最終学校の成績証明書をもってこれに代える。
成績証明書	出身学校長が作成し，厳封したもの。ただし，高等学校から高等専門学校に編入学した者は，出身高等学校の成績証明書も添付すること。
英語の基準に係る確認書類	TOEIC公開テストの公式認定証（Official Score Certificate）又はTOEIC-IPテスト（TOEIC Institutional Program）のスコアレポート（Score Report））のいずれか一つの原本（出願資格の確認後，出願者本人に返却します）。 **※公式認定証又はスコアレポートの再発行の対象は，試験日から２年以内のものに限られるので，注意すること。**
写　真　票 受　験　票	本校所定の用紙に必要事項を記入し，写真を貼付したもの（写真は出願前３ヶ月以内に撮影し，上半身，脱帽，正面向き，縦6.5 cm×横4.5 cmのもの）。
検　定　料	１６，５００円，本校所定の振込用紙に氏名を記入の上，出願書類等提出締切日までに指定の銀行に振り込み，出願書類等提出時に振込金受領書（控）を入学願書裏面の指定された場所に貼付すること。
そ　の　他	・　Ⅲ.出願資格（２）により出願する場合は，出身学校長作成の修了証明書又は修了見込証明書を添付すること。 ・　Ⅲ.出願資格（４）により出願する場合は，次の①又は②のいずれか及び③の書類を提出すること。 ①専修学校が発行する，修業年限２年以上で修了に必要な総時間数が1,700時間以上の専門課程を修了したこと又は修了見込みであることの証明書 ②専門士の称号授与証明書又は授与見込み証明書 ③専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 ・　現に日本国内に在住する外国人は，「在留カード」の写しを添付すること。

※　出願に関する注意事項

ア．郵送の場合は必ず**書留郵便**とし，封筒に**「専攻科出願書類在中」と朱書き**すること。

イ．**出願書類等に不備のあるものは受け付けない。**

ウ．提出した出願書類等に虚偽の記載があった場合は，入学後においても入学を取り消すことがある。

エ．出願書類等の提出後は，記載事項の変更は認めない。

オ．受理した出願書類等（英語の基準に係る確認書類を除く。）及び検定料は返還しない。

カ．出願状況を本校ホームページで公開する（http://www.hakodate-ct.ac.jp/）。

キ．検査の実施，又は修学上，特別な配慮を必要とする障がいがある場合は，８月１７日（金）までに申し出ること。
　なお，必要な場合は，本校において出願者等との面談を行う。

３．選抜の方法

入学者の選抜は，推薦書，調査書及び成績証明書並びに面接の内容に基づいて，総合的に判定する。

試験日時	**平成３０年　９月１３日（木）１４：４０～** ※１４：２０までに，本校の指定する場所で受付を済ませること。
試験内容	面接
試験会場	函館工業高等専門学校

４．合格者の発表

選抜の結果は，**平成３０年１０月１日（月）１０：００**に本校構内の掲示により発表するとともに，合格者には『合格通知書』を交付（郵送）する。

また，合格者の受験番号を本校ホームページで公開する（http://www.hakodate-ct.ac.jp/）。

５．入学手続

入学に必要な書類，経費等については合格者へ３月上旬に通知する。

Ⅶ．その他

出願手続等に関しての不明な点は，以下の担当まで照会すること。

〒042-8501　北海道函館市戸倉町14番1号
函館工業高等専門学校学生課教務係
電　話　0138-59-6420
ＦＡＸ　0138-59-6330

専 攻 科 入 学 案 内

Ⅰ．専攻科の目的

専攻科は，高等専門学校における教育の基礎の上に，精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し，もって広く産業の発展に寄与する人材を養成することを目的とする。

■生産システム工学専攻の教育目的

生産システム工学専攻では，本科課程で学んだ生産システム工学の基礎知識を基盤として，機械工学（材料系，設計・加工系，熱流体系，制御系），電気電子工学（回路エレクトロニクス系，通信系），情報工学（ハードウエア系，ソフトウエア系，ネットワーク系）のそれぞれの専門性をさらに深め，それらを複合する領域での問題解決に当たることができるデザイン能力を持った実践的技術者を育成することを教育目的とする。

■物質環境工学専攻の教育目的

物質環境工学専攻では，本科課程で学んだ物質環境工学の基礎知識を基盤として，応用化学系，バイオ系，環境系の専門知識を系統的にさらに深め，その専門性を問題解決に適用できる実践的技術者を育成することを教育目的とする。

■社会基盤工学専攻の教育目的

社会基盤工学専攻では，本科課程で学んだ社会基盤工学の基礎知識を基盤として，土木工学系（構造系，水・環境系，地盤・防災・施工系，計画・マネジメント系）とともに地域系やデザイン系の専門知識を系統的にさらに深め，その専門性を問題解決に適用できる実践的技術者を育成することを教育目的とする。

Ⅱ．専攻及び入学定員

生産システム工学専攻	１２名
物質環境工学専攻	４名
社会基盤工学専攻	４名

Ⅲ．修業年限及び修了要件

（１）修業年限　２年

（２）修了要件

専攻科を修了するためには，次の要件を全て満たすこと。

① 専攻科に2年以上在籍すること（4年を限度とする）。

② 次の区分による単位を修得すること（62単位以上）。

専攻名	共通科目		専門科目		合計
	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	
生産システム工学専攻	18単位	8単位以上	20単位	16単位以上	62単位以上
物質環境工学専攻	18単位	8単位以上	26単位	10単位以上	62単位以上
社会基盤工学専攻	18単位	8単位以上	20単位	16単位以上	62単位以上

③ 特別研究の成果を学協会などで行われる研究発表会で発表していること。

④ 「学習・教育到達目標の達成度の評価方法・基準表」に掲げる評価方法及び基準により，学習・教育到達目標を達成していること。

⑤ 学位（学士）を取得しなければならない。

Ⅳ．教育課程表

○生産システム工学専攻

授業科目				単位数	学年配当		修得必要単位数
					第1学年	第2学年	
共通科目	一般科目	必修	プラクティカル・サイエンス・イングリッシュ	2		2	6単位
			グローバル・コミュニケーション	2	2		
			グローバル・ケーススタディ	2	2		
			小　　計	6	4	2	
		選択	科学技術中国語	2		2	専門共通科目と併せて8単位以上
			マーケティング	2		2	
			北海道産業構造論	2	2		
			小　　計	6	2	4	
		一般科目開設単位数合計		12	6	6	
	専門共通科目	必修	地域課題対応型創造実験	4	4		12単位
			インターンシップ	4	4		
			品質管理	2	2		
			ユニバーサルデザイン論	2	2		
			小　　計	12	12		
		選択	応用解析学	2	2		一般科目と併せて8単位以上
			流体物理	2	2		
			工業数学	2	2		
			工学倫理	2		2	
			プロジェクトマネジメント(※)	2		2	
			環境マネジメント(※)	2		2	
			コンプライアンス(※)	2		2	
			小　　計	14	6	8	
		専門共通科目開設単位数合計		26	18	8	
	共通科目開設単位数合計			38	24	14	
	共通科目履修単位数合計			26			26単位以上
専門科目	必修		生産システム工学特別研究Ⅰ	4	4		20単位
			生産システム工学特別研究Ⅱ	8		8	
			システム工学実験	2	2		
			マイクロコントローラ応用	2	2		
			アシスティブテクノロジー概論	2	2		
			ロボット制御論	2	2		
			小　　計	20	12	8	
	選択		システム設計工学	2	2		16単位以上
			駆動システム	2	2		
			機械材料応用	2	2		
			バイオメカニクス	2		2	
			加工技術応用	2	2		
			エネルギーシステム応用	2		2	
			応用計測システム	2		2	
			電子回路応用	2	2		
			センサデバイス	2	2		
			シミュレーション工学	2		2	
			ワイヤレス伝送工学	2		2	
			アクチュエーター材料	2	2		
			アドバンスト信号処理	2	2		
			ロボットビジョン	2		2	
			知能システム	2	2		
			データベース応用	2		2	
			ネットワーク応用	2		2	
			オペレーティングシステム論	2	2		
			小　　計	36	20	16	
	専門科目開設単位数合計			56	32	24	
	専門科目履修単位数合計			36			36単位以上
開設単位合計				94	56	38	
履修単位合計				62			62単位以上

（注）※：長岡技術科学大学との連携教育科目

○物質環境工学専攻

授業科目				単位数	学年配当		修得必要単位数
					第1学年	第2学年	
共通科目	一般科目	必修	プラクティカル・サイエンス・イングリッシュ	2		2	8単位
			グローバル・コミュニケーション	2	2		
			グローバル・ケーススタディ	2	2		
			北海道産業構造論	2	2		
			小　計	8	6	2	
		選択	科学技術中国語	2		2	専門共通科目と併せて8単位以上
			マーケティング	2		2	
			小　計	4		4	
	一般科目開設単位数合計			12	6	6	
	専門共通科目	必修	地域課題対応型創造実験	4	4		10単位
			インターンシップ	4	4		
			品質管理	2	2		
			小　計	10	10		
		選択	応用解析学	2	2		一般科目と併せて8単位以上
			流体物理	2	2		
			工業数学	2	2		
			工学倫理	2		2	
			ユニバーサルデザイン論	2	2		
			プロジェクトマネジメント(※)	2		2	
			環境マネジメント(※)	2		2	
			コンプライアンス(※)	2		2	
			小　計	16	8	8	
	専門共通科目開設単位数合計			26	18	8	
	共通科目開設単位数合計			38	24	14	
	共通科目履修単位数合計			26			26単位以上
専門科目	必修		物質環境工学特別研究Ⅰ	4	4		26単位
			物質環境工学特別特別研究Ⅱ	8		8	
			構造有機化学	2	2		
			土壌学	2	2		
			植物生理学	2	2		
			食品加工学	2	2		
			醸造・醗酵工学	2		2	
			化学生態学	2		2	
			機能性食品工学	2		2	
			小　計	26	12	14	
	選択	材料・物性科目群	無機材料工学特講	2	2		どちらかの科目群を選択し10単位履修
			金属材料工学特講	2	2		
			有機材料工学特講Ⅰ	2	2		
			有機材料工学特講Ⅱ	2		2	
			無機構造化学特講	2		2	
		バイオ・環境科目群	生物化学特講	2	2		
			分子生物学特講	2	2		
			環境工学特講Ⅰ	2	2		
			環境工学特講Ⅱ	2		2	
			応用微生物化学特講	2		2	
			小　計	20	12	8	
	専門科目開設単位数合計			46	24	22	36単位以上
	専門科目履修単位数合計			36			
開設単位合計				84	48	36	62単位以上
履修単位合計				62			

（注）※：長岡技術科学大学との連携教育科目

○社会基盤工学専攻

授業科目				単位数	学年配当		修得必要単位数
					第1学年	第2学年	
共通科目	一般科目	必修	プラクティカル・サイエンス・イングリッシュ	2		2	8単位
			グローバル・コミュニケーション	2	2		
			グローバル・ケーススタディ	2	2		
			北海道産業構造論	2	2		
			小　計	8	6	2	
		選択	科学技術中国語	2		2	専門共通科目と併せて8単位以上
			マーケティング	2		2	
			小　計	4		4	
		一般科目開設単位数合計		12	6	6	
	専門共通科目	必修	地域課題対応型創造実験	4	4		10単位
			インターンシップ	4	4		
			工業数学	2	2		
			小　計	10	10		
		選択	応用解析学	2	2		一般科目と併せて8単位以上
			流体物理	2	2		
			工学倫理	2		2	
			品質管理	2	2		
			ユニバーサルデザイン論	2	2		
			プロジェクトマネジメント(※)	2		2	
			環境マネジメント(※)	2		2	
			コンプライアンス(※)	2		2	
			小　計	16	8	8	
		専門共通科目開設単位数合計		26	18	8	
	共通科目開設単位数合計			38	24	14	
	共通科目履修単位数合計			26			26単位以上
専門科目	必修		社会基盤工学特別研究Ⅰ	4	4		20単位
			社会基盤工学特別研究Ⅱ	8		8	
			社会基盤工学総合演習	2		2	
			弾性力学	2	2		
			プロジェクト評価	2	2		
			地域・まちづくり論	2	2		
			小　計	20	10	10	
	選択		破壊確率論	2		2	16単位以上
			コンクリート物性論	2	2		
			景観計画	2		2	
			海岸波動論	2		2	
			流域環境工学	2	2		
			寒冷地防災地質学	2		2	
			都市地域解析論	2	2		
		都市デザイン科目群	都市空間デザイン特講	2	2		どちらかの科目群を8単位選択
			都市計画特講	2	2		
			土木空間デザイン特講	2	2		
			景観工学特講	2	2		
		建設設計科目群	道路工学特講	2	2		
			農業・水産土木特講	2	2		
			海岸・海洋工学特講	2	2		
			国土・地域計画特講	2	2		
			小　計	30	22	8	
	専門科目開設単位数合計			50	32	18	
	専門科目履修単位数合計			36			36単位以上
開設単位合計				88	56	32	
履修単位合計				62			62単位以上

（注）※：長岡技術科学大学との連携教育科目

Ⅴ．「社会基盤工学」教育プログラム

本校では，社会基盤工学科（本科）4学年から社会基盤工学専攻（専攻科）2学年までの4年間に相当する学習・教育に対して一貫したひとつの教育プログラムとして「社会基盤工学」教育プログラムを設定しています。この教育プログラムは，平成32年度にJABEE受審することを予定しています。

１．「社会基盤工学」教育プログラムで育成しようとする技術者像

災害に強い安全で快適な地域社会を創造し，地域社会を支える様々な社会基盤をデザイン・設計・建設・管理できる総合的な技術力を持った建設技術者を育成する。

すなわち，土木工学にかかわる基礎科目と専門科目の学力に加え，地域とデザイン，情報技術に関する専門知識を身に着け，地球的な視野と地域の視点から，国際的な感覚と土木技術者としての倫理観を持ち，問題解決に向けて，計画的，継続的，自主的に取り組み，コミュニケーションを図りながら様々な人々と協働し，創意工夫して問題を解決する応用力を有する技術者である。

２．「社会基盤工学」教育プログラムの学習・教育到達目標

Ａ．創造力と実行力を持った技術者

(A-1)　自ら仕事を計画して継続的に実行し，まとめ上げることができる。

(A-2)　チームの一員としての役割と責任を理解して自主的に行動できる。

(A-3)　ものづくりのための創意工夫をすることができる。

Ｂ．専門技術に関する基礎知識を持った技術者

(B-1)　数学および物理などの自然科学の基礎知識を持ち，専門科目に応用できる。

(B-2)　土木工学の基礎知識（構造系，水・環境系，地盤・防災・施工系，計画・マネジメント系）とともに，地域（地域系）やデザイン（デザイン系）に関する基礎知識を持っている。

(B-3)　実験，演習を通して土木工学に関する実践的な基礎技術を身につけている。

Ｃ．情報技術を活用できる技術者

(C-1)　情報の収集，データの整理や分析などに，コンピュータなどの情報技術を用いることができる。

(C-2)　設計や製図，解析などに情報技術を活用できる。

Ｄ．社会の歴史や文化，技術者倫理を理解して行動できる技術者

(D-1)　国際社会の多様な歴史的背景や文化的価値観を理解できる。

(D-2)　科学技術が人間や社会，自然環境および未来の世代に与える影響を理解できる。

(D-3)　技術者としての社会に対する役割と責任について説明できる。

Ｅ．多面的なコミュニケーション能力を持った技術者

(E-1)　技術的課題について自分の考えをまとめ，他者と討論できる。

(E-2)　技術的成果を正確な日本語を用いて論理的な文書にまとめることができる。

(E-3)　技術的成果を的確にプレゼンテーションすることができる。

(E-4)　国際的なコミュニケーションを行うための基礎的な英語理解力および表現力を持ってい

Ｆ．問題解決のためのデザイン能力を持った技術者

(F-1)　問題解決に向けて必要となる種々の基礎知識を活用し，制約条件を考慮して実現可能な方針を立案できる。

(F-2)　問題解決のために複数の解決方法を考案し，それらを評価してその中から最適な解決策を提案できる。

３．「社会基盤工学」教育プログラム修了要件

本教育プログラムを修了するためには，次の要件を全て満たすこと。

（１）専攻科の修了要件を全て満たすこと

（２）本教育プログラムにおいて，124単位以上を修得すること

Ⅵ．学士の学位取得について

本校は学位授与の特例適用専攻科として認定されており，大学改革支援・学位授与機構に申請して審査に合格することで，大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められ，学士の学位を取得できる。

Ⅶ．入学時に必要な諸経費，授業料等

１．入学時

入学料　　84,600円（金額は改定される場合がある。）

諸経費　　約10,000円

※上記の他に，教科書代が必要。選択する科目によって金額が異なる。

２．授業料等

授業料　　234,600円（年額）（金額は改定される場合がある。）

諸経費　　約20,000円（年額）

※年額を前期と後期に分けて納入。

Ⅷ．入学料・授業料の免除及び奨学金制度

１．入学料の免除及び徴収猶予

入学前１年以内において，学資負担者が死亡した場合又は入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合など，特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる者は，本人の申請に基づき，選考のうえ入学料の免除若しくは徴収を猶予される制度がある。

２．授業料の免除

家庭の経済的理由又は風水害の災害を受けた場合などにより授業料の納付が困難であり，かつ，学業・人物共に優秀であると認められる者は，本人の申請に基づき，選考のうえ授業料の全額又は半額を免除される制度がある。

３．奨学金制度

日本学生支援機構では，学業・人物ともに優れ，かつ，健康であって，学資の支弁が困難と認められる者に対して，本人の申請に基づき選考のうえ奨学金が貸与される。

Ⅸ．検定料の取り扱いについて

１．検定料の返還について

振り込み済みの検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しない。

・検定料を振り込んだが本校に出願しなかった場合。

・検定料を二重に払い込んだ場合。

上記に該当する場合は，必ず学生課教務係まで連絡すること。

２．災害により被災したことに伴う検定料免除措置について

主たる家計支持者の居住地が災害による被災に伴い災害救助法の適用を受け，居住する家屋が被害を受けた場合，被災日以降に出願手続きを行う入学者選抜において，罹災証明書等の必要書類の提出によって，検定料が免除となる制度がある。

該当する場合には，出願前に，本校学生課教務係まで連絡すること。

Ⅹ．個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は，入学者選抜の資料として利用するとともに，次の目的にも利用します。

１．入学手続き

２．入学後の教育・指導

３．本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

４．入学料・授業料免除に関する業務

５．奨学金に関する業務

平成３１年度　函館工業高等専門学校　専攻科

入　学　願　書

<table>
<tr><td>志望専攻</td><td colspan="2">工学 専攻</td><td>受験番号</td><td>※1</td></tr>
<tr><td>ふりがな</td><td colspan="2"></td><td>性別</td><td rowspan="2">１．学力検査による選抜
２．推薦による選抜
（ 前期 ・ 後期 ）
３．社会人特別選抜</td></tr>
<tr><td>氏名</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td>生年月日</td><td colspan="2">昭和･平成　　年　　月　　日</td><td>学力検査による選抜選択科目群</td><td>※2
科目群
（生産システム工学専攻志願者のみ）</td></tr>
<tr><td>ふりがな</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>現住所</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>郵便番号</td><td>〒</td><td>電話番号</td><td colspan="2">（　　）　　－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">在籍
（出身）
学校</td><td colspan="4">昭和・平成　　年　　月　　日　卒業・卒業見込・修了・修了見込</td></tr>
<tr><td colspan="4">所在地　〒</td></tr>
<tr><td rowspan="5">中学校卒業後の学歴及び職歴</td><td colspan="2">昭和・平成　　年　　月　　日</td><td colspan="2">中学校卒業</td></tr>
<tr><td colspan="2">昭和・平成　　年　　月　　日</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">昭和・平成　　年　　月　　日</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">昭和・平成　　年　　月　　日</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">昭和・平成　　年　　月　　日</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">勤務先</td><td>名称</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>所在地</td><td colspan="3">〒
電　話（　　）　　－</td></tr>
<tr><td colspan="2">長期休業期間中の連絡先</td><td colspan="3">〒
電　話（　　）　　－</td></tr>
</table>

記入上の注意

1　※1 欄は記入しないこと。

2　※2 欄は学力検査による選抜への出願者のみ記入してください。

3　黒（青）のペン又はボールペンで正確，かつ，明瞭に記入してください。

4　該当事項は，〇で囲んでください。

5　勤務先欄は，企業等に在職のまま入学を希望する者のみ記入すること。

振込金受領書（控）を貼付してください。

平成３１年度　函館工業高等専門学校　専攻科

自 己 ア ピ ー ル 書

志　望　専　攻	工学 専攻	受験番号	※
ふ　り　が　な		推薦による選抜 （ 前期 ・ 後期 ）	
氏　　名			

志望動機

特別研究で希望する研究内容

専攻科修了後の進路希望

記入上の注意

1　※欄は記入しないこと。

2　黒（青）のペン又はボールペンで正確，かつ，明瞭に記入してください。

推薦による選抜用

受験番号	※

推　　薦　　書

平成　　年　　月　　日

函館工業高等専門学校長　　殿

学　校　名

学 校 長 名　　印

下記の者は，学業成績，人物ともに優れており，貴校専攻科　　工学専攻への推薦入学にふさわしい者と認め推薦します。

記

志 願 者 氏 名

昭和・平成　　年　　月　　日　生

所属学科

推薦理由	
その他参考事項	

社会人特別選抜用

受験番号	※

推　　薦　　書

平成　　年　　月　　日

函館工業高等専門学校長　　殿

企　業　名

所属長職名

氏　　名　　印

下記の者は，勤務成績，人物ともに優れており，貴校専攻科　　工学専攻への社会人入学にふさわしい者と認め推薦します。

記

志願者	氏　　名	
	生年月日	昭和・平成　　年　　月　　日　生
	所　　属	勤続年数（　　年）

（推薦所見）

平成３１年度　　函館工業高等専門学校　　専攻科

調　　査　　書

<table>
<tr><td>志望専攻</td><td colspan="3">工学 専攻</td><td>受験番号</td><td>※</td></tr>
<tr><td>ふりがな
氏　　名</td><td colspan="3"></td><td>出身又は在籍
学校名
・
学科名
・
コース等名</td><td></td></tr>
<tr><td>生年月日</td><td colspan="2">昭和・平成　　年　　月　　日生</td><td colspan="3">昭和・平成　　年　　月　　日 入学・編入・転入学</td></tr>
<tr><td>性　　別</td><td colspan="2"></td><td colspan="3">昭和・平成　　年　　月　　日 卒業・卒業見込
修了・修了見込</td></tr>
<tr><td>成　　績
証明書</td><td colspan="5">出身学校所定の用紙を使用し，当該学校長が作成したものを添付の上厳封すること。
（成績の評価を評語で記入の場合は評点基準を明示すること。）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">席
次</td><td>１年</td><td>人中　　位</td><td colspan="3">評語の評定基準</td></tr>
<tr><td>２年</td><td>人中　　位</td><td>優</td><td>A</td><td>点～　　点</td></tr>
<tr><td>３年</td><td>人中　　位</td><td>良</td><td>B</td><td>点～　　点</td></tr>
<tr><td>４年</td><td>人中　　位</td><td>可</td><td>C</td><td>点～　　点</td></tr>
<tr><td>５年</td><td>人中　　位</td><td>不可</td><td>D</td><td>点～　　点</td></tr>
<tr><td>卒業研究
題　　目</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>卒業研究要旨</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>在学中の状況</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

上記のとおり相違ないことを証明する。

平成　　年　　月　　日

学　校　名

校長・学長名　　職　印

記入上の注意

1　※欄は記入しないこと。

2　在学中の状況欄は，人物・課外活動・生活態度等を記入すること。

平成３１年度函館工業高等専門学校専攻科　写真票

注意　　※欄には記入しないでください。

志　望　専　攻	受　験　番　号
工学専攻	※
学力検査による選抜 選択科目群 （生産システム工学専攻のみ）	科目群
ふりがな	
氏　　名	
生年月日	昭和　・　平成　　年　　月　　日生
性　　別	男　・　女

試験区分

１．学力検査による選抜

２．推薦による選抜

【　前期　・　後期　】

３．社会人特別選抜

写　真　貼　付

正面上半身脱帽のこと。
縦6.5cm×横4.5cm判

出願３か月以内に
撮影したもの。

写真の裏に氏名を明記
してください。

全体を糊付けしてくだ
さい。

平成３１年度函館工業高等専門学校専攻科　受験票

注意　　※欄には記入しないでください。

志　望　専　攻	受　験　番　号
工学専攻	※
学力検査による選抜 選択科目群 （生産システム工学専攻のみ）	科目群
ふりがな	
氏　　名	

試　　験　　日　　時		
学力検査による選抜		平成３０年　９月１３日（木）
	専門科目	１０：００～１２：００
	数　　学	１３：００～１４：３０
	面　　接	１４：４０～
推薦による選抜【前期】		平成３０年　７月１２日（木）　９：００～
推薦による選抜【後期】		平成３０年１１月　８日（木）　９：００～
社会人特別選抜		平成３０年　９月１３日（木）１４：４０～

※　入学願書提出までに金融機関（ゆうちょ銀行を除く）で振り込むこと。

※　振込金受領書（控）を入学願書の裏面に必ず貼付すること。

※　志願者本人の名前で振り込むこと。

振込金受領書（控）

日　付	年　月　日
金　額	1 6 5 0 0 円
振込先	北洋銀行湯川支店
受取人	（独）国立高等専門学校機構本部
依頼人（志願者氏名）	
手数料	円

上記の金額正に受け取りました。（取扱店）

銀行

支店

収納印

（取扱店 → 依頼人）

振込金（兼手数料）受領書（本人保存）

日　付	年　月　日
金　額	1 6 5 0 0 円
振込先	北洋銀行湯川支店
受取人	（独）国立高等専門学校機構本部
依頼人（志願者氏名）	
手数料	円

上記の金額正に受け取りました。（取扱店）

銀行

支店

収納印

（取扱店 → 依頼人）

（銀行で切り離して下さい）

・本指定用紙以外の使用はできません。

・自動振込機での振込はできません。

取扱銀行へお願い　**電信扱**

（振込手数料依頼人負担）

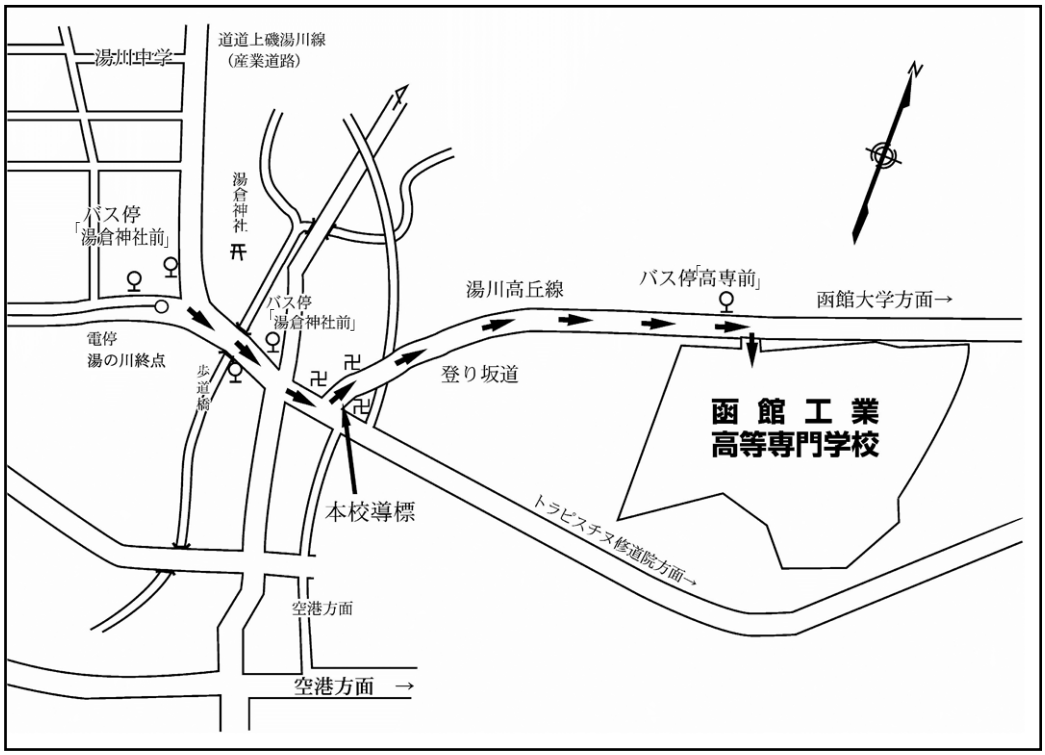
振込依頼書

科目	

依頼日	年　月　日	振込指定	電信扱	手数料	円		
受取人	振込先銀行	北洋銀行湯川支店 普通　3429409	金額	1 6 5 0 0 円			
	口座名	ﾄﾞｸ）ｺｸﾘﾂｺｳﾄｳｾﾝﾓﾝｶﾞｯｺｳｷｺｳﾎﾝﾌﾞ（独）国立高等専門学校機構本部	内訳	現金			
				当手			
				他手			
ご依頼人	依頼人（志願者氏名）	フリガナ	収納印				
	住所	〒　電話番号（　　）　－					

（取扱店保存）

函館工業高等専門学校案内略図



交 通 機 関

ＪＲ函館駅から

① 函館バス（14 番）に乗車（所要時間約 40 分）高専前下車

② 函館バス（6，96 番　10 系統）に乗車（所要時間約 25 分）湯倉神社前下車
徒歩（所要時間約 15 分）またはタクシー（所要時間約 3 分）高専まで

③ 電車（2，5 番）に乗車（所要時間約 30 分）湯の川終点下車　徒歩（所要時間約 15 分）またはタクシー（所要時間約 3 分）高専まで

④ タクシー乗車（所要時間約 20 分）高専まで

函館空港から

① タクシー乗車（所要時間約 10 分）高専まで